

---

# 才悩人応援歌

最弱なる斬賊

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

才悩人応援歌

### 【Nコード】

N2065J

### 【作者名】

最弱なる斬賊

### 【あらすじ】

BUMP OF CHICKENの才悩人応援歌を自分なりに小説にしてみた物です。  
ただの駄文ですけどね。

(前書き)

あらすじにも書きましたが、BUMPの才悩人応援歌のパロディの  
ようなものです。

見て不快になる方は、見ないようお願いします。

俺には…得意な事があった。もう、今では忘れてしまっているが。違う、忘れたいんだ。

でも忘れられない夢がある。

得意だから夢を持っていた。

その得意なことで夢を見たって、構わないだろう？

だが、その夢も壊れた。

得意ではなくなってしまった。

結局この世界は自分のための世界じゃないんだ。

上手く行くはずなんてないだろう。

いや、それは分かっていたんだ。ただ認めたくなっただけなんだ。

なあ…俺のための世界じゃないんだ。何をしたって問題ないだろ？

こんな俺が寝てたって、世界に必要なじゃない、いらなかった一人の人間が寝てたって。

おれなんかが必要な世界じゃないんだからさ。

俺の生活は平凡だよ。だが、平凡だから楽なわけじゃない。平凡だって困難なんだよ。

だけど特別の方が楽だと言いたいわけでもないさ。

それでも、平凡な俺でも困難な生活だ。

困難でも生活は続いている。この世界、この星で。

必要とされていない俺でも、生活はしている。

もちろん、声援なんてない。脚光？そんなの無縁だよ。

誰かに期待なんてされやしない。いらないだろ？こんな人間、こんな命。

誰かに必要な訳でもないんだ。こんな命、世界に必要なのか？

それでも、思わず唇からこぼれた歌声。

今頃唄いだすなんてどうかしてる。

本当に…本当に、俺は何をしたいんだろう？

とても小さな声。ただ一人の人間が聞いた唄。

ラララ。

歌詞なんて無い。

ただ…、ただの、音だ。

こんなので夢を抱き、得意だと思ひ込む。

俺なんて…必要と、されないだろう？

こんな俺なんて。

俺にだって大切な夢があった。だが、今ではもう忘れたい夢だ。本当に夢物語。

それでも忘れられやしない。

本当にどこまで引きずるんだ、そろそろ決別しなきゃ生きていけないだろう？

それでも決別できない夢。叶えられない夢なんて…持ってた悲しくなるだけだ。

叶えたって生活できやしない。金になんてなりやしない。

痛いつてほど分かってた。俺のための君じゃないって事は。

だから君のための俺でもないだろう？

俺は…必要とされていないんだろう？君に。

だから問題はないだろ？俺なんか消えても。

たった一人の人間が消えたってさ。

悲しむ人なんて…いないんだ。

ファンだったミュージシャン。新しい唄が出た。暇潰しに聴いてみる。

売れてからはもうどうでも良くなった。

これは嫉妬か？そんな自分に嫌気が差す。

それでも気持ちは変わらない、どうでもいい。  
歌詞なんて全部奇麗事だろ？それが現実になんてなるわけないんだ。  
俺みたいに現実に打ちのめされて終わりだ。  
こんな夢物語信じてたなんて死にたくなるよ。  
でも、生きていたいよ！  
どっちなんだよ！

俺の喉から溢れ出してしまった唄声。

夢を諦められていない証拠。

その声は自分自身を嫌悪させる声で、安心させる声。  
短い距離だが、その声は俺の耳まで届いてしまった。

音でしかない

ただの声

ラララ。

俺の隣人は立派さ。将来有望、才能人。俺なんかとは違うよな。  
そんな奴が俺にがんばれって言ったってさ、がんばれると思うのか？  
いい所にいる奴が、俺の気持ちが分かるのか？  
今どんな気持ちか分かるのか！  
分からないだろう？だからお前には俺はどう見えるんだ？  
俺にはお前が分からない。お前には俺が分からない。  
お前には俺が怠けて見えたかい？そう聞いたらお前はうなずくのか？  
死にたくなるよ。でも、生きていたい！

世界のための自分じゃない。誰かのための自分でも無い。  
得意な事だっただけ。大切な夢だっただけ。  
俺は分かっていたんだ。自分のために唄われた唄なんてあるわけない

んだって事。

問題なんて、ないじゃないか。

自分で、自分のために唄うことは、問題なんて無いだろう！

唇からこぼれだしてしまつた唄声。

喉からあふれてしまつた唄声。

たった一人の耳を指して泳ぎだす。

俺が歌う、俺のための唄。

お前が唄う、お前だけの唄。

いつか大きな声で歌ってやろう。得意な事も忘れられなくなるだろう。

自分の大切な夢も叶えられるだろう。

ただ一人のための、唄。

夢物語だつて構わない

俺のための

俺が唄う

唄

ラララ。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2065j/>

---

才悩人応援歌

2010年10月28日00時54分発行